

# 夢の頂点へ！

～ 限りなく向上せよ！ ～

## ユニフォームを誇りに！

28日（土）に行われた河南陸上クラブ練習会のミーティングにて、私から話をしたことをここでも紹介します。そのミーティングに参加していた人も改めて聞いてください、

二中の陸上競技部のユニフォームと言えば、ランシャツは紺が基調で赤字で「富田林二」、ランパンは黄色という伝統のユニフォームです。近年は、ユニフォームもどんどん進化し、デザインも派手になってきていますが、本校の場合は長くデザイン変更なく今に至っています。

実はこのユニフォームを考えたのは、かつて本校に勤務されていた牧野喜久夫先生。少なくとも25年以上、このユニフォームのままです。私自身もシンプルなユニフォームが好きなので、この二中のユニフォームもけっこう気に入っていました。その牧野先生は、今の私よりもお若い年齢で、ご病気で亡くなりました。私は、牧野先生のお子様3人を三中陸上競技部で指導してきました。そんなご縁もあり、二中のユニフォームを感慨深くいつも眺めていました。



あなた方に問いたい。

「あなたは、二中のユニフォームに誇りを持っていますか？」

「二中のユニフォームが大好きですか？」

前任校では、力を入れていた駅伝チームのユニフォームは、個人で購入するユニフォームと

は違うデザインを採用していました。駅伝を走るときにだけ着用するユニフォームとして、男子6着、女子5着を学校で購入しました。駅伝の度に、駅伝を走る選手のみが着用できるユニフォームです。毎年毎年、そのユニフォームは引き継がれていきますから、7年も8年も10年もたてば、当然ボロボロになり、いろいろなところがほつれてくるので何度も縫った後があり、また学校名の印刷も消えて読むのも難しくなってきます。でも、長距離チームの選手たちは、そのユニフォームを着て駅伝を走ることを目標に、日々練習をしてきました。ある女子選手が卒業式を前に、「卒業スピーチ」でこんなことをクラス全員の前で発表しました。

「私たちの駅伝チームのユニフォームはまちがいなく日本一ボロボロです。いろんなところが破けています。学校名も消えて読めません。でも、私はそのユニフォームが大好きで、日本一カッコいいユニフォームだと思っています。私は、そのユニフォームを着たとたんに、速く走れる気がしました。試合前にはいつも枕元において寝ていました」

私は担任の先生からその子がそんなスピーチをしてくれたと聞いて本当にうれしく思いました。でも、あまりにもボロボロなのでそろそろ新しいユニフォームを作ろうと思っていたけど、そのスピーチを聞いてできなくなってしまいました（笑）。

そんな気持ちでユニフォームを着れたら、きっとプラスアルファの力が発揮されることでしょう。ユニフォームがその選手を強くしてくれるというのは、絶対あると思います。だから、二中のユニフォームを大好きになってほしいなあと思うのです。

陸上競技のランシャツ・ランパンというのは、入部当初は「恥ずかしい」と感じるものです。1年生にユニフォームを着せても、なぜか、正直、違和感があります。でも、不思議なもので、だんだんと似合ってくるんですね～これが。筋肉がついて、体が引き締まってきて、顔つきも変わってくると、ユニフォーム姿がすごくカッコよく見えるようになってくるものです。

今の伝統のユニフォームを大事にしたいという気はあります。ただ、やはり0秒1や1cmを競う陸上競技においては、素材や形も重要になってきているので、そういう意味では二中のユニフォームも、素材や形は進化していい頃かなと思っています。中学生でも、女子のセパレートや、男子では体に密着するスリム形のユニフォームが主流になってきているので、みんなの意見も聞きながら考えていきたいと思っています。

以上、「ユニフォームを誇りに！」という話でした。

## 明日の練習

### 13時集合

遠くから通学している人にとって再登校は非常に負担が大きいので、学校でお弁当を食べて練習します。すぐに帰れる人はいったん帰っても構いません。家の人にお弁当かパンの用意をお願いしてください。昼食場所は…